

岩見沢市給食調理員感染でのPCR検査全員陰性

接触疑い62人全員陰性

岩見沢の給食調理員感染でPCR検査

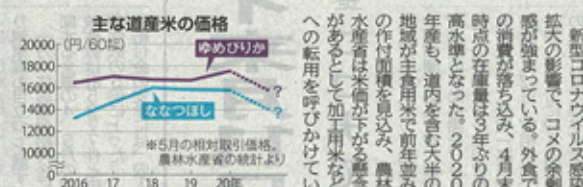
新型コロナ

消毒後、24日に給食再開へ

【岩見沢】市立学校給食共同調理所の調理員が新型コロナウイルスに感染したことを受け、道がこの調理員と二階に勤務する給食調理員らにPCR検査の結果が13日判明し、計62人全員が陰性だった。市教委は今後、岩見沢保健所の指導を受けながら、調理員らの健康観察をすることにも、調理所内の消毒作業を行い、24日からの給食提供の再開を目指す。

懸念 強まる余剰コメ

コロナ禍 激減 20年産前年並み



新型コロナウィルス感染拡大の影響で、コメの需要が落ち込んでいる。4月末時点の在庫量は3年ぶりの高水準となった。2020年度も、道内を含む大半の地域が主食用米で前年並みの作付面積を見込み、農林水産省は米価が下がる懸念があるとして加工用米への転用を呼びかけている。

無料・低額宿泊所の個室化のイメージ



無料・低額宿泊所の個室化のイメージ。個室化により、感染拡大防止策として、個室化が推進されている。個室化により、感染拡大防止策として、個室化が推進されている。

無料宿泊所 個室化に補助

無料・低額宿泊所の個室化に補助。国が改修費を補助。個室化により、感染拡大防止策として、個室化が推進されている。

賃金の8割非正規にも

手当ない中小労働者へ直接支給

【岩見沢】新型コロナウイルスで企業から休業を求められたにもかかわらず、休業手当が支払われなかった中小企業の労働者を対象にした国の給付金制度が7月にスタートする。正社員だけでなく非正規労働者や外国人なども支給可能で、労働者本人による申請や直接支給が可能。

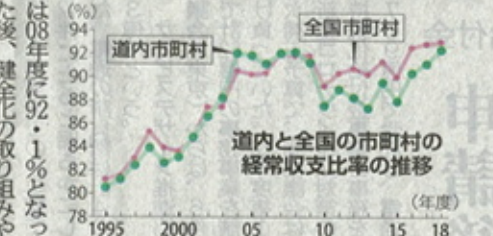
新設 コロナ休業給付金

新型コロナウイルスで企業から休業を求められたにもかかわらず、休業手当が支払われなかった中小企業の労働者を対象にした国の給付金制度が7月にスタートする。正社員だけでなく非正規労働者や外国人なども支給可能で、労働者本人による申請や直接支給が可能。

経常収支比率 最悪92%

道内18年度平均 29市町村95%超

財政の硬直化の度合いを示す道内市町村の経常収支比率が、2018年度決算で平均92.3%と、過去30年で最悪となったことが、道の集計で分かった。道内では夕張市の財政破綻などを背景に、近年は財政健全化が進んだが、近年は社会保障費の増加などで再び苦境に陥っている。新型コロナウイルス対策や老朽化するインフラ更新の費用もかさみ、市町村財政は今後、さらに厳しい運営を迫られるのは必至だ。



取支比率が95%を超え、特に財政の硬直化が著しい市町村は18年度に前年度比4増の29となり、全体の16.2%を占めた。釧路市は18年度に前年度比1.4倍悪化し98%で、人口10万人以上の道内の自治体の中で最も硬直化している。道市町村課は「今後はインフラにかかる費用が自治体にはかかる」とみる。給水人口が減る中で水道管の大規模な更新や、病院事業の赤字を一般会計から補う自治体もあり、「財政が改善する要素は乏しい」と話す。各市町村は新型コロナウイルスで落ち込む地域経済への対策で、独自の支援金を支給するなどしており、財政状況への影響も懸念される。全国でも社会保障費の増大による市町村の経常収支比率は悪化し、18年度は93.0%と過去最悪。北海道大の横山純一教授は「地方財政は、今以上に事業の優先順位が求められる。公民連携(ppp)や補助金などを活用し、事業費を減らす工夫も欠かせない」と指摘する。(田島工幸)

「夜の街」客との距離2メートル

【岩見沢】新型コロナウイルスの感染拡大防止のガイドライン（指針）を公表した。対人距離確保を徹底し、客との距離を2メートル以上確保する。夜の街対策のポイントは、人と人の距離を最低1メートル以上確保すること、利用者の氏名や連絡先を含む名簿を作成すること、飲食店では利用者の検温を徹底すること、ライブハウスでは来場者と接触するハイタッチなどの演出を避けること、ナイトクラブでは店内の自量を必要最小限に調整すること。

夜の街対策のポイントは、人と人の距離を最低1メートル以上確保すること、利用者の氏名や連絡先を含む名簿を作成すること、飲食店では利用者の検温を徹底すること、ライブハウスでは来場者と接触するハイタッチなどの演出を避けること、ナイトクラブでは店内の自量を必要最小限に調整すること。